

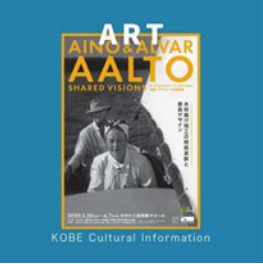












# 4月のカルチャー情報一覧

令和2年3月27日時点

## ART [アート]

| Instagram表紙イメージ  | イメージ   | タイトル   | 内容   | 詳細   |
|--|--|--|--|--|
|    |     | <p>コートールド美術館展<br/>魅惑の印象派<br/>【神戸市立博物館】</p>               | <p>マネ、ルノワール、セザンヌ、モネら、印象派・ポスト印象派の巨匠たちの貴重な作品がイギリス・コートールド美術館から神戸市立博物館に來日します。世界有数のセザンヌ・コレクションから、マネ最晩年の傑作「フォーリー=ベルジュールのバー」等、見応えある作品が集結します。コートールド美術館が研究機関である側面にも着目し、美術史研究や科学的調査に基づいて作品を読み解く展示にも注目です。</p> <p>画像<br/>エドゥアール・マネ 《フォーリー=ベルジュールのバー》1882年 油彩、カンヴァス コートールド美術館<br/>© Courtald Gallery (The Samuel Courtauld Trust)</p> | <p>期間：3/28(土)～6/21(日)<br/>場所：神戸市立博物館(神戸市中央区京町24)<br/>休館日：月曜、5/7(木)※5/4(月・祝)は開館<br/>料金：一般1,500円、大学生750円、高校生以下無料<br/>問い合わせ：(078)391-0035</p> |
|    |     | <p>伝説の靈獣 龍と鳳凰<br/>【香雪美術館】</p>                            | <p>理想的な君主の象徴や演技の良い吉祥のシンボルとされる伝説上の靈獣、龍と鳳凰をモチーフにした美術品を紹介します。香雪美術館のコレクションを収集した村山龍平(朝日新聞社の創設者)の収集品の中から屏風や花瓶、刀剣、香炉等、中国、日本の幅広い作品をピックアップ。伝説上の靈獣・神獣である龍と鳳凰の表現の多様性と作品に込められた意味を探ります。</p>   | <p>日時：3/20(金・祝)～5/6(水・休)<br/>場所：香雪美術館(神戸市東灘区御影郡家2-12-1)<br/>料金：一般700円、大高450円、中学生以下無料<br/>問い合わせ：香雪美術館 (078)841-0652</p>                     |
|   |   | <p>江戸とんぼを探る<br/>一粋・願い・交易 一近世和玉の美<br/>【KOBEとんぼミュージアム】</p> | <p>庶民の間で絶大な人気を誇り、多彩な技術やデザインが生み出された江戸時代のとんぼ玉を紹介します。海外のデザインを取り入れたものや、金魚や花小紋といった当時の流行が垣間見られるもの等を展示します。とんぼ玉を通して、交易や当時の流行、生活文化といった生き生きとした江戸の様子が伝わってきます。</p>   | <p>期間：4/11(土)～7/7(火)<br/>場所：KOBEとんぼミュージアム(神戸市中央区元町通3-9-5 2階)<br/>休館日：会期中無休<br/>料金：一般400円、中小200円<br/>問い合わせ：(078)393-8500</p>                |
|  |  | <p>生島国直展「さっぱりした多様性」<br/>【ギャラリーヤマキファインアート】</p>            | <p>若手画家の登竜門として知られる「VOCA展 2020 現代美術の展望-新しい平面の作家たち-」(上野の森美術館)へ出品し、今後のさらなる活躍が期待されている若手作家・生島国直の展覧会。様々な技法を駆使した、新作を含む30作品を展示します。</p> <p>画像1枚目<br/>《痩せた犬の腹を肥やせよ》2019油絵・蠟・キャンバス 65.6x53.2 cm<br/>画像2枚目<br/>《ロブウェイ》2019油絵・蠟・キャンバス 65.6x53.2 cm<br/>画像3枚目<br/>《紫雲》2019油絵・蠟・キャンバス 65.6x53.2 cm</p>                                  | <p>期間：～4/18(土)<br/>場所：ギャラリーヤマキファインアート(神戸市中央区元町通3-9-5 2階)<br/>休館日：日曜、月曜<br/>料金：無料<br/>問い合わせ：ギャラリーヤマキファインアート (078)391-1666</p>               |

|   |   |  |   |   |
|---|---|--|---|---|
|   |       | <p>開館50周年<br/>超・名品 展<br/>【兵庫県立美術館】</p>                   | <p>兵庫県立美術館が今年、開館50周年を迎えること記念し、美術における名品とは何か、またどのような可能性を持つのかを探る展覧会です。前身である近代美術館時代から収集し続けてきた近代(1970年前後)日本の美術作品を、兵庫県の美術を考える上で重要な名品も併せて展示します。様々な「名品」の考え方が提示され、作品を読み解くおもしろさや多彩な作家像も楽しめます。</p> <p>画像1・2枚目<br/>展覧会らし</p> <p>画像3枚目<br/>和田三造《南風》1907年 油彩・キャンバス 東京国立近代美術館蔵 重要文化財</p> <p>画像4枚目<br/>高橋由一《豆腐》1877年 油彩・キャンバス 金刀比羅宮蔵</p>  | <p>期間: 4/11(土)~6/7(日)<br/>場所: 兵庫県立美術館(神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1)<br/>休館日: 月曜<br/>料金: 一般1,300円、大学生900円、高校生以下無料<br/>問い合わせ: 兵庫県立美術館 (078)262-0901</p>       |
|  |    | <p>地下に眠る神戸の歴史展2020<br/>—平成時代発掘精選—<br/>【神戸市埋蔵文化財センター】</p> | <p>神戸市内各地の遺跡から出土した遺物の調査・整理・収蔵・展示を行う神戸市埋蔵文化財センターが開催する企画展のひとつ。今回は、約30年間の平成の時代に神戸市内で行った発掘調査の中から、選りすぐりの出土遺物を展示します。見どころは、国の重要文化財に指定された西求塚古墳の青銅鏡や神戸市指定の有形文化財に指定された資料。また、豊臣秀吉が通った有馬温泉湯山御殿跡に関する出土品も。約30年間に行われた2,300件の発掘調査を代表する出土品の数々から、古の神戸の姿が浮かび上がります。</p> <p>画像1・2枚目<br/>新方遺跡出土「鹿角製指輪」(ろっかくせいゆびわ: 神戸市指定有形文化財)<br/>弥生時代前期<br/>平成9年(1997)に発掘調査で出土<br/>男性の白骨の右手に付けられた状態で出土した指輪で、2個で1対にしたものが人差し指と中指、薬指に付けられていました。このような状態で見つかった指輪は国内では他にありません。</p> <p>画像3枚目<br/>西求塚古墳出土「三角縁神獣鏡」(さんかくぶちしんじゅうきょう: 国指定重要文化財)<br/>古墳時代前期<br/>平成5年(1993)に発掘調査で出土<br/>灘区にある前方後方墳から出土しました。1596年の慶長の地震によって崩れた、古墳の石室から発見されました。</p> <p>画像4枚目<br/>上沢遺跡出土「佐波理鏡」(さばりわん: 神戸市指定有形文化財)<br/>奈良時代<br/>平成11年(1999)に発掘調査で出土<br/>奈良時代の井戸の底から出土しました。法隆寺や正倉院に伝わるものはありませんが、完全な形のものが発掘調査で出土することは、大変珍しいことです。</p> | <p>期間: 4/18(土)~5/31(日)<br/>場所: 神戸市埋蔵文化財センター(神戸市西区糞台6-1 西神中央公園内)<br/>休館日: 4/20・27(月)、5/11・18・25(月)<br/>料金: 無料<br/>問い合わせ: 同センター (078)992-0656</p> |

|   |  |   |  |   |
|---|--|---|--|---|
|    |    | <p>アイノとアルヴァ 二人のアールト 建築・デザイン・生活革命<br/>木材曲げ加工の技術革新と家具デザイン<br/>【竹中工大道具館】</p> | <p>フィンランドを代表する建築家の一人、アルヴァ・アールトと、同じく建築家として活躍した妻のアイノ・マルシオ(後のアイノ・アールト)がデザインした家具の中から、木材を曲げて加工する曲げ木の技術に焦点を当てて紹介します。今も世界中で愛される柔らかな曲線が印象的な「アールト椅子」の魅力や、貴重なオリジナル家具やスケッチ、製作工程の解説を通して伝えます。</p> <p>画像3枚目<br/>41 アームチェア バイミオ / AAF</p> <p>画像4枚目<br/>スツール60 / 撮影: Martti Kapanen, 1980' s / AAF</p>   | <p>期間: 3/28(土)~6/7(日)<br/>場所: 竹中工大道具館(神戸市中央区熊内町7-5-1)<br/>休館日: 月曜(祝日の場合は翌日)<br/>料金: 一般500円、大高生300円、中学生以下無料、65歳以上200円<br/>問い合わせ: 同館 (078)242-0216</p>    |
|    |    | <p>コレクション企画展示<br/>小磯・ポーズ・デザイン<br/>【神戸市立小磯記念美術館】</p>                       | <p>神戸で生まれ神戸を拠点に活動した小磯良平は「デッサンの画家」と称されるほど、卓越した素描力とそれを追求する強い熱意を持った画家でした。特にドガの素描作品に惹かれ、自身の制作に影響を受けていたこと、彼がドガの批評本として知られるポール・ヴァレリー著『ドガ・ダンス・デッサン』を愛読していたことに因み、多彩なデッサン群から選りすぐりの作品を展示します。「小磯良平作品選Ⅰ」を同時開催。</p> <p>画像1・2枚目<br/>小磯良平《休息する踊り子》1939年 小磯記念美術館蔵 ※前期(5/24まで)展示</p> <p>画像3枚目<br/>小磯良平《横向きの婦人》1949年 木炭・紙 小磯記念美術館蔵</p> <p>画像4枚目<br/>小磯良平《腰掛ける男》1955年 サンギーヌ・紙 小磯記念美術館蔵</p> | <p>期間: 4/10(金)~7/12(日)<br/>場所: 神戸市立小磯記念美術館(神戸市東灘区向洋町中5-7)<br/>休館日: 月曜、5/7(木)※5/4(月・祝)は開館<br/>料金: 一般200円、大学生100円、高校生以下無料<br/>問い合わせ: 同館 (078)857-5880</p> |
|   |    | <p>高村義朗写真展「海辺の過ごし方」<br/>【フォトカフェ】</p>                                      | <p>芦屋市在住の現役大学生の写真展。京都大学写真部所属の高村義朗さんが写した芦屋浜、須磨海岸のスナップ写真を展示します。モノクロのフィルム写真15点を展示するほかスライドショーの上映も。</p> <p>画像<br/>©高村義朗2020海辺の過ごし方</p>  | <p>期間: 3/27(金)~4/5(日)<br/>場所: フォトカフェ(神戸市中央区元町通4-5-15)<br/>休館日: 3/30(月)~4/2(木)<br/>料金: 無料<br/>問い合わせ: 同ギャラリー (078)201-9720</p>                            |
|  |    | <p>金×銀×銅<br/>一東洋の金工美術—<br/>【白鶴美術館】</p>                                    | <p>古来から人類にとって重要な素材として活用されてきた金・銀・銅。白鶴美術館が所蔵する、優れた東洋の金工美術を鑑賞できる展覧会です。鍛造で整えられた器の形と彫金による文様が魅力の3,000年以上前の古代中国・唐時代の銀器や、粒金の細かな技法が目目を引き装身具など、美しい作品の数々が展示されます。それぞれの金属を使用する目的や意味についても紹介します。</p> <p>画像<br/>展覧会ちらし</p>   | <p>期間: ~6/7(日)<br/>場所: 白鶴美術館(神戸市東灘区住吉山手6-1-1)<br/>休館日: 月曜、5/7(木)※5/4(月・祝)は開館<br/>料金: 一般800円、大高・65歳以上500円、中小250円<br/>問い合わせ: 同館 (078) 851-6001</p>        |







※日時・休館日等は変更になる場合があります。

※新型コロナウイルス 感染症の拡大により、掲載の各展覧会・公演の中止または変更が発生する場合があります。開催状況については、各イベント主催者にご確認ください。

## 4月のカルチャー情報一覧

令和2年3月27日時点

### MUSIC [ミュージック]

| Instagram表紙イメージ   | イメージ   | タイトル                               | 内容  | 詳細  |
|---|--|------------------------------------|---|---|
|   |   | ミハル・カニユカ & 関西弦楽四重奏団<br>【神戸新聞松方ホール】 | チェコを代表するチェリストのミハル・カニユカが、日本の主要オーケストラのコンサートマスターや首席奏者らで編成する関西弦楽四重奏団と共演します。シューベルトの弦楽四重奏曲第14番ニ短調『死と乙女』と、彼の最後の室内楽として知られる弦楽五重奏曲ハ長調を演奏し、円熟の音色を響かせます。                          | 期間: 4/4(土) 16:00開演<br>場所: 神戸新聞松方ホール(神戸市中央区東川崎町1-5-7)<br>料金: 3,500円<br>問い合わせ: 松方ホールチケットオフィス (078) 362-7191                 |
|   |   | チェロアンサンブルKobe 第3回定期演奏会<br>【灘区民ホール】 | プロとアマチュアのチェロ奏者が合同で結成したチェロアンサンブルKobeの公演が開催されます。団全員での演奏のほか、プロチェリストのみのアンサンブルやチェロを学ぶ高校生以下による演奏も楽しめます。作品はシベリウスの「アンダンテ・フェスティーヴォ」ほか、チェロ尽くしのプログラムです。<br><br>画像<br>過去の定期演奏会の様子 | 期間: 4/26(日) 14:00開演<br>場所: 灘区民ホール(灘区岸地通1-1-1)<br>料金: 一般2,000円、高校生以下1,000円※未就学児不可<br>問い合わせ: チェロアンサンブルKobe事務局 080-5302-4194 |
|  |  | Gaku Yabushita Trio<br>【100BANホール】 | ジャズギター奏者の藪下ガクが、1部では駒木愛弓(ヴァイオリン)と南口真耶(チェロ)と、2部では萬恭隆(ベース)と森下啓(ドラム)とセッション。2つのトリオを率いて、異なる2つの音楽世界を表現します。<br><br>画像<br>藪下ガク   | 期間: 4/18(土) 19:00開演<br>場所: 100BANホール(神戸市江戶町100高砂ビル2階)<br>料金: 一般3,000円、学生2,000円<br>問い合わせ: 同ホール (078)331-1728               |

※日時・休館日等は変更になる場合があります。

※新型コロナウイルス感染症の拡大により、掲載の各展覧会・公演の中止または変更が発生する場合があります。開催状況については、各イベント主催者にご確認ください。



# 4月のカルチャー情報一覧

令和2年3月27日時点

## THEATER[シアター]

| Instagram表紙イメージ  | イメージ   | タイトル   | 内容   | 詳細  |
|--|--|--|--|---|
|  <p>THEATER<br/>4/18(土)<br/>桂三若の落語会<br/>～利き酒でお花見気分～<br/>【葦合文化センター 大ホール】</p> <p>KOBE Cultural Information</p> |  <p>4/18(土)<br/>桂三若の落語会<br/>～利き酒でお花見気分～<br/>【葦合文化センター 大ホール】</p> | <p>桂三若の落語会<br/>～利き酒でお花見気分～<br/>【葦合文化センター 大ホール】</p> | <p>神戸出身の落語家・桂三若を筆頭に月亭希遊、露の薫の3人がお酒にまつわる演目を披露します。休憩時間には地元の酒蔵の利き酒3種を解説付きで楽しめる、お花見気分の落語会です。</p>  | <p>期間: 4/18(土) 17:30開演<br/>場所: 葦合文化センター 大ホール(神戸市中央区旗塚通4-4-1)<br/>料金: 2,500(2,000)円※未就学児不可、当日要身分証<br/>問い合わせ: 同センター (078)242-0414</p>           |
|  <p>THEATER<br/>かぐや姫<br/>【風月堂ホール】</p> <p>KOBE Cultural Information</p>                                       |  <p>かぐや姫<br/>4/25(土) 14:00開演<br/>【風月堂ホール】</p>                   | <p>木津川計の一人語り劇場 新作初演「かぐや姫」<br/>【風月堂ホール】</p>         | <p>かぐや姫はどんな罪を犯して地球にやって来て、私たちに何を伝えて帰ったのか。誰もが知る昔話「かぐや姫」に込められた謎を、大学等でも教鞭をとってきた木津川計が独自の解釈を盛り込みながら一人語りで解き明かします。4月で閉館する風月堂ホールでの最後の公演にもなります。</p>                      | <p>日時: 4/25(土) 14:00開演<br/>場所: 風月堂ホール(神戸市中央区元町通3-3-10)<br/>料金: 3,500(3,000)円※創作和菓子付き<br/>問い合わせ: 神戸芝居カーニバル実行委員会 090(1914)4907</p>              |
|  <p>THEATER<br/>【井上定期能】</p> <p>KOBE Cultural Information</p>  |    | <p>井上定期能 4月公演<br/>【井上定期能】</p>                      | <p>ユネスコの無形文化遺産にも指定されている能楽の公演。さらわれた我が子を尋ね歩き隅田川にたどり着くものの、我が子の死を知り嘆き悲しむ母親の物語『隅田川』です。イギリスの作曲家ベンジャミン・ブリテンのオペラの題材となったことでも有名な作品。出演は女性能楽師の佐伯紀久子。ほかに、素謡『屋島』も披露されます。</p> | <p>期間: 4/25(土) 13:00開演<br/>場所: 上田観正会能楽堂(神戸市長田区大塚町2-1-14)<br/>料金: 一般4,500(前売り3,800)円、学生2,000円<br/>問い合わせ: 井上定期能(佐伯方)(078)731-2727※電話、ファクスとも</p> |

※日時・休館日等は変更になる場合があります。


※新型コロナウイルス 感染症の拡大により、掲載の各展覧会・公演の中止または変更が発生する場合があります。開催状況については、各イベント主催者にご確認ください。

# 4月のカルチャー情報一覧

令和2年3月27日時点

## CINEMA [シネマ]

| Instagram表紙イメージ  | イメージ  | タイトル  | 内容   | 詳細   |
|--|---|---|--|--|
|    |    | <p>プラド美術館 驚異のコレクション<br/>【シネ・リーブル神戸】</p>                       | <p>2019年11月に開館200周年を迎えたスペイン・マドリッドにあるプラド美術館の名品に密着したドキュメンタリー映画。15世紀から19世紀にかけて歴代のスペイン王室が築いた膨大なコレクションの中でも特に注目のディエゴ・ベラスケス、フランシスコ・ゴヤらの作品を接写し、筆遣いを克明に映し出します。同館学芸員の解説や収蔵品を保存、修復、研究するスタッフの作業の風景等も。同館の魅力を余すところなく伝える作品です。</p> <p>画像<br/>©2019 - 3D Produzioni and Nexo Digital - All rights reserved</p>  | <p>日時: 4/10(金)～<br/>場所: シネ・リーブル神戸 (神戸市中央区浪花町59神戸朝日ビルディング地下1階・4階)<br/>料金: 一般1,800円、大学・専門生1,500円、シニア1,200円、高校生以下1,000円<br/>問い合わせ: 同館 (078)334-2126</p> |
|    |    | <p>神戸みんなの映画会<br/>『パンダコパンダ 劇場版』他1本<br/>【神戸芸術工科大学 吉武ホール】</p>    | <p>映画に関する研究にも取り組む神戸芸術工科大学で毎月1回開催されている映画上映会。4月は、宮崎駿が原案・脚本・画面設定、高畑勲が監督を務めた1972年公開の『パンダコパンダ 劇場版』を上映します。竹やぶの一軒屋にたった一人で住んでいた少女ミミ子の家にやってきた小さなパンダのパンちゃんとその親のババパンダ。ババパンダがミミ子の父親代わりに、ミミ子がパンちゃんの母親になると決めて始まった奇妙で楽しい新生活の物語です。併せて『パンダコパンダ 雨ふりサーカス』も上映します。</p> <p>画像<br/>『パンダコパンダ』©TMS</p>  | <p>日時: 4/25日(土) 16:00～<br/>場所: 神戸芸術工科大学 吉武ホール(西区学園西町8-1-1)<br/>料金 無料<br/>問い合わせ: 同大学 (078)794-2112</p>  |
|  |  | <p>『新聞記者』<br/>『工作～黒金星と呼ばれた男～』<br/>※2本立て<br/>【バルシネマしんこうえん】</p> | <p>昭和46年に開館した「バルシネマしんこうえん」では、ロードショーが終了した作品の中から、テーマを設定して二本立てで名画を上映しています。</p> <p>「新聞記者」<br/>現役の新聞記者の著書『新聞記者』を原案に、権力中枢の闇に迫ろうとする女性記者と若手エリート官僚との対峙・葛藤を描いたオリジナルストーリー。第43回日本アカデミー賞で最優秀作品賞に選ばれたほか、主演のシム・ウンギョンと松坂桃李が最優秀主演男優賞、最優秀主演女優賞を受賞。</p> <p>「工作～黒金星と呼ばれた男～」<br/>実在した韓国の工作員の想像を絶する工作活動の実態を描くとともに、彼が目にした祖国の闇を描いた作品。頭脳と心理を駆使した迫真のたまし合いが繰り広げられます。監督は『悪いやつら』等のユン・ジョンビン。</p> <p>画像1・2枚目<br/>©2019「新聞記者」フィルムパートナーズ<br/>画像3枚目<br/>©2018 CJ ENM CORPORATION ALL RIGHTS RESERVED</p> | <p>期間: 3/28(土)～4/7(火)<br/>場所: バルシネマしんこうえん(神戸市兵庫区新開地1-4-3)<br/>料金: 一般1,300円、シニア1,100円、大学生900円、高中小800円<br/>問い合わせ: 同館 (078)575-7879</p>                 |

|   |  |                            |   |  |
|---|--|----------------------------|---|--|
|  |  | <p>21世紀の資本<br/>【元町映画館】</p> | <p>700ページを超える経済書でありながら300万部の世界的なベストセラーを記録した『21世紀の資本』が映画に。現代は第一次世界大戦前の不平等な時代に戻ってしまっていると言鐘を鳴らした、原作者で経済学者のトマ・ピケティが監修・出演し、世界中の著名な政治・経済学者とともに“格差社会”の真相を分かりやすく伝えます。</p> <p>画像<br/>©2019 GFC (CAPITAL) Limited &amp; Upside SAS. All rights reserved</p> | <p>期間: 4/25(土)～5/1(金)<br/>場所: 元町映画館(神戸市中央区元町通4-1-12)<br/>料金: 一般1,700円、シニア1,200円、学生1,000円<br/>問い合わせ: 同館 (078)366-2636</p> |
|---|--|----------------------------|---|--|

※日時・休館日等は変更になる場合があります。

※新型コロナウイルス感染症の拡大により、掲載の各展覧会・公演の中止または変更が発生する場合があります。開催状況については、各イベント主催者にご確認ください。